

ゲンティン・シンガポール (GENS)

ファミリー向け施設を増強投資中。中国政府のシンガポール向け海外団体旅行解禁による追い風を見込む

シンガポール | カジノ・ゲーミング | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG GENS:SP | REUTERS GENS.SI

- 2022/12期2H (7-12月) は、売上高が前年同期比2.1倍、調整後EBITDAが同2.9倍、純利益が同2.7倍。設備増強に伴う減価償却費増を吸収。
- 同社の統合リゾートRWSはファミリー向けに特徴があり、カジノに加えて子どもに楽しんでもらえる設備・施設の拡張に注力する方針。
- 中国政府が2月よりシンガポール含む20カ国を対象に海外団体旅行を解禁。ホテル運営および客船クルーズを含め追い風が見込まれる。

What is the news?

2/20発表の2022/12期2H (7-12月) は、売上高が前年同期比2.1倍の10.62億SGD、一時的要因の影響を除く調整後EBITDA (利払い前税引き前・償却前利益) が同2.9倍の5.05億SGD、純利益が同2.7倍の2.55億SGD。前年同期は行動規制により国境を跨ぐ移動が殆ど無かったなか、外国からシンガポール来訪者数が回復。減価償却費が同42.6%増の1.88億SGDと嵩んだほか公共料金やカジノ税が増加したものの、カジノ顧客の滞在長期化など地域観光マーケット正常化の継続が業績に貢献し、費用増を吸収した。4Q (10-12月) の前四半期比でも、売上高が4.6%増、調整後EBITDAが同2.8%増と伸長した。また、昨年10月に円建て無担保無劣後債券200億円を全額償還するなど財務状況も改善した。

2Hの主なセグメント別の売上高は以下の通り。①カジノなどゲーミング部門は、前年同期比2.1倍の7.53億SGD、②ホテル宿泊部屋事業、アトラクション事業などを含む非ゲーミング部門は、同2.1倍の3.07億SGD。

How do we view this?

同社はカジノライセンス延長にあたり政府との公約で所有施設拡張に33億USDを投資することとしており、リゾート・ワールド・セントーサ (RWS) を拡張中だ。RWSは、政府から独占的にカジノライセンスを付与された2つのIR (統合リゾート) のうち、もう一つの米系のマリーナベイ・サンズと異なりファミリー向けであることが特徴。シンガポール海用水族館 (SGO)、ユニバーサルスタジオ・シンガポール「ミニオンランド」のほか、ホテルも子ども向けエンターテインメントを強調した「フェスティブ・ホテル」を中心に今年5月に改装して389室追加の予定。

シンガポール政府観光局 (STB) は航空座席供給量の増加と中国の国境が緩やかに再開するとして、23年の外国人訪問者数を1200万~1400万人 (22年実績630万人) と予測している。新型コロナ禍前の2019年実績が1910万人であること、および中国政府が2月から既にシンガポールを含む20カ国を対象に海外への団体旅行を解禁していることから、目標達成の実現が期待される。それに伴い、ホテル客室稼働率および客室料金の上昇、および同社の豪華客船クルーズである「ゲンティン・ドリーム」寄港数および旅客数も増加が見込まれよう。

業績推移

※参考レート 1SGD=100.52円

事業年度	2020/12	2021/12	2022/12	2023/12F	2024/12F
売上高(百万SGD)	1,063	1,067	1,725	2,355	2,576
当期利益(百万SGD)	69	183	340	628	696
EPS (SGD)	0.01	0.02	0.03	0.05	0.06
PER (倍)	100.00	50.00	33.33	20.00	16.67
BPS (SGD)	0.65	0.65	0.66	0.68	0.70
PBR (倍)	1.54	1.54	1.52	1.47	1.43
配当 (SGD)	0.01	0.01	0.00	0.04	0.04
配当利回り (%)	1.00	1.00	0.00	4.00	4.00

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想 (SGD) **0.04** (予想はBloomberg)
 終値 (SGD) **1.000** 2023/2/20

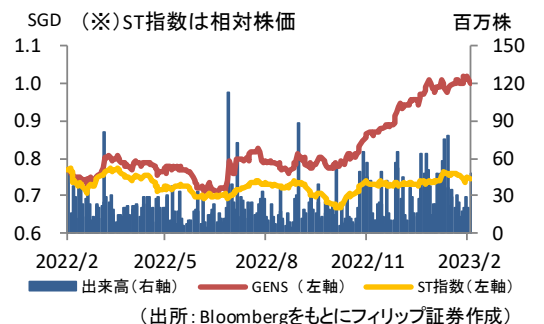
会社概要

マレーシアの実業家・富豪であるリム・ゴートンが設立したコングロマリットのゲンティン社を親会社とする。1984年にマン島で設立後、2005年にシンガポール取引所に上場。2018年に英国マン島からシンガポールに住所を移転した。30年以上にわたり、オーストラリア、バハマ、マレーシア、フィリピン、シンガポール、英国で、カジノ(ゲーム)および統合リゾート(Integrated Resort: IR)の開発を手掛けてきた。

2010年にシンガポールの一大観光地セントーサ島にファミリー向けトロピカルリゾートとして開発した「リゾート・ワールド・セントーサ」は、ユニバーサルスタジオ・シンガポールやS.E.A水族館をはじめとする世界屈指のエンターテインメント施設であり、東南アジアで最大クラスの統合リゾートである。シンガポール初となるカジノのほか、6つのホテル、博物館といった様々なリゾート施設・設備が一堂に集まっている。

企業データ (2023/2/21)

ベータ値	1.00
時価総額(百万SGD)	12,072
企業価値=EV(百万SGD)	8,613
3ヵ月平均売買代金(百万SGD)	29.0



主要株主 (2023/2)

1. ゲンティン	52.63 (%)
2. VANGUARD GROUP	1.42 (%)
3. ブラックロック	1.27 (%)

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
 kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。